

第2次三次市総合計画（改訂版）素案に関するご意見とご意見に対する三次市の考え方

平成30年11月22日

部署名：政策部企画調整担当

第2次三次市総合計画（改訂版）素案について、平成30年10月10日から平成30年10月30日まで、三次市ホームページ等を通じてご意見を募集したところ、13通のご意見をいただきました。
お寄せいただいたご意見と、ご意見に対する三次市の考え方について、次のとおりとりまとめましたので、報告いたします。
ご意見をお寄せいただいた皆様のご協力に厚くお礼申し上げます。

番号	素案の項目	ご意見の概要	件数	三次市の考え方
1	計画のまとめ方	現在は市外に住んでいるが、もっと三次ならではの特徴を出して、市外に住んでいる人が三次に住んでみたいと思えるような内容の計画書が良いのでは。	1	今後5年間で重点的に取り組むこととして、3つの重点項目を設定しています。特に「子どもの未来応援」と「“ツナガリ人口”の拡大」については本市独自に打ち出しました。住んでみたいと思われるまちをめざすとともに、市外の方とのつながりを拡大することで、本市の良さを知っていただく取組を推進していきます。
2	計画のまとめ方	少子化、高齢化については背景、課題、対応策などが異なると思うので、「人口減少、少子化、長寿化社会（高齢化）」それぞれを区分けした記述が望ましいと思う。	1	「少子高齢化」は同時進行していく課題として使われており、本計画もその表現を使っています。少子化と高齢化に係る背景、課題、取組の方向性については、それぞれ記載しています。
3	計画のまとめ方	問題点の書き出しは大概してもらっていると思うが、対策の具体性に乏しい。	1	総合計画はまちづくりの総合的な指針の位置付けとなっており、具体的な対策や事業については、毎年度策定する今後3年間の実施計画においてお示しします。
4	計画のまとめ方	具体的な内容や予算規模が不明である。本計画のアクションプランやロードマップなどが共に示されていれば分かり易い。	1	総合計画はまちづくりの総合的な指針の位置付けとなっており、具体的な内容や予算規模については、毎年度策定する今後3年間の実施計画においてお示しします。
5	計画のまとめ方	人口減少が進み、財政状況も厳しい見通しであることから、地域別施策・取組や、緊急度、重要度を考慮した優先順位別の施策・取組等、財源や人材等のリソースを選択と集中で費やす考え方を計画に織り込むべきでは。	1	各住民自治組織において策定されたまちづくりビジョンを尊重するとともに地域の拠点性の向上に取り組んでおり、地域別の事業については実施計画でお示しします。 選択と集中については、「行財政改革」の項目に記載していますが、今年度策定する予定の次期行財政改革大綱や行財政推進計画において整理していきます。

番号	素案の項目	ご意見の概要	件数	三次市の考え方
6	計画のまとめ方	各施策に対して一つずつ指標を設けるべきと思う。PDCAサイクルを効果的に回すために、もう少し各柱の取り組みを評価する指標の数を増し、施策評価を厳密に行い、次期計画へ反映できる様な努力をすべきと思う。	1	PDCAサイクルについては行政チェックの制度により、各事業についての指標を設定し評価を行うとともに、各施策ごとの評価を行っています。この評価により検証し次期計画に反映していきます。
7	計画のまとめ方	4つの挑戦 「(1)人口減少・少子高齢社会に挑戦します」の欄で「進行が顕著な地域を守るために取組を進めるとともに、地域を発展させる新たな可能性の開拓に努めます。」とあるが、このことに対応される記述や指標が明記されていない。	1	4つの挑戦は、総合計画を通して、人口減少・少子高齢社会に挑戦し、未来を切り開くものとして掲げています。地域を守るための取組や地域を発展させる新たな可能性の開拓としては、「観光」「定住・交流」「地域生活拠点の機能確保」の項目をはじめとした様々な項目に関連しているものです。指標についても「合計特殊出生率」「社会動態」「総観光客数」「ふるさとサポーター加入者数」をはじめとした項目に関連しており、総合計画の全体の取組を進めることが挑戦につながるものと考えています。
8	計画のまとめ方	(上記と)同様に4つの挑戦 (1)～(4)について現状と指標を提示されることが望ましい。	1	4つの挑戦は、総合計画を通して、人口減少・少子高齢社会に挑戦し、未来を切り開くものとして掲げています。現状、取組、指標は様々な項目に関連しており、総合計画の全体の取組を進めることが挑戦につながるものと考えています。
9	基本的方向	県北にあるものを活用して、人口減少、少子高齢化をチャンスとしていただきたい。	1	4つの挑戦に掲げていますように、いただいたご意見のとおり、地域の財産を活用し、人口減少・少子高齢社会に挑戦します。
10	基本的方向	それぞれの立場で、全員参加ができる。変化、チェンジすることが活力のもととなるのではないかと。	1	計画を推進するうえで大切にしたいこととして、「参加」「行動」「対話」を掲げています。また、3つの重点項目の一つである、変化を起こす「ツナガリ人口」の拡大の取組を推進していきます。
11	基本的方向 つながるしくみ	地域社会の維持に向けて、危機感を持って行政・市民が本気で取り組む必要がある。孫達のためにも行政と市民が常に対話できる環境づくりが必要である。	1	「しくみづくり」において、協働のまちづくりを進めていくこととしています。また、今回の見直しにおいて「参加」「行動」に加え、「対話」を大切にしながら、4つの挑戦、3つの重点項目の実現に向けて取り組むよう考えています。
12	基本的方向 つながるしくみ	参加、行動、対話により、つながりあう人を増やすことが大切なので、ぜひ広めていただきたい。ボランティアに参加しているが、顔見知りが増え楽しい。	1	「参加」「行動」「対話」を計画を推進するうえで大切にしていきます。また、3つの重点項目の一つである「ツナガリ人口」の拡大の取組を推進していきます。
13	3つの重点項目	未来を拓く「子どもの未来応援」について、人が住むために必要な公共的なものは、学校と医療機関と言われている。他市のように小学校の統合を急いで良いものか疑問がある。また、廃校になりそうな学校に、医療機関やコンビニのようなもの、若者が起業できるスペースを作るなど創意工夫を考えてはどうか。	1	学校での教育をはじめ、「子どもの未来応援」の取組を推進していきます。ご意見は、今後の施策等を検討する中で参考にします。

番号	素案の項目	ご意見の概要	件数	三次市の考え方
14	策定後の取組	三次から離れて初めて、三次市は他の地域にはない特徴を持った都市だと感じている。もっと三次市の特徴を活かした具体的な政策や魅力ある企画の立案が必要である。	1	4つの挑戦の中で、「(1)人口減少・少子高齢社会に挑戦します」の中に「地域特性・個性を活かした地域づくりを進めます」としています。また、「(4)拠点性を活かして三次の未来を拓きます」としており、今後も、計画に基づき、本市の特徴を活かした、具体的な施策等を推進していきます。
15	策定後の取組	三次市の工業や観光など、他市にはない産業があるので、見える形でPRすることが必要ではないか。また、他の都市との競争であるので、もっと戦略的かつ野心的な活動が必要ではないか。	1	今年度は発信の年として位置づけ、本市の諸施策・事業だけではなく、本市の素晴らしさ、元気さを含めて、情報発信しています。また「仕事づくり」の分野において、「情報発信機能の強化」の取組を引き続き推進していきます。ご意見は、今後の施策等を検討する中で参考にします。
16	子育て	里親制度の手続きがとても多く、複雑であるため、市がサポートする仕組みを考案して欲しい。	1	ご意見は、今後の施策等を検討する中で参考にします。
17	子育て 男女共同参画・平和・人権	「男性の子育て参画の促進と支援強化」について、「男性」という文言は不要ではないか。	1	これまでも「子育て」の項目に記載していましたが、「男女共同参画・平和・人権」にも再掲したものです。女性の就業、社会参加の促進を重点的な取組として位置づけており、「社会全体として男女平等である」と感じている市民の割合は11.2%と計画策定時より下がっており、男性が子育てに参画するための取組は、今後も必要であると考えています。
18	教育	子どもたちの未来応援が見直し重点項目に含まれているのは非常に喜ばしい。市全体の教育レベルを上げて未来を担う人材育成を行うために「考える力」「生きる力」の強化や「イマージョン教育（英語で他教科を教える）」「超STEM教育」等を三次市独自のカリキュラムとして取り入れてはどうか。財政状況が厳しい折でも人財への投資は強化すべき。	1	「教育」の項目に新たに「考える力」「生きる力」を育むことにつながる取組や「ICTを効果的に活用した教育やプログラミング教育の推進」などを掲載しています。ご意見は、今後の施策等を検討する中で参考にします。
19	教育	コミュニケーション力をつけるため小学校段階からの演劇教育の導入が良いのではないか。	1	「教育」の項目に新たに「自己表現力と他者と共感する力を育む教育の推進」を掲載しています。今後の施策等を検討する中で参考にします。
20	教育	「学校司書の配置」について、専門の職員配置を検討していただきたい。	1	ご意見は、今後の施策等を検討する中で参考にします。
21	教育	洪水などの災害や、戦争中のことについて、80代や90代の方に話を聞いてはどうか。また、話の内容を基に、地域応援隊や小中高の児童・生徒などと一緒に、地域の宝本を作ってはどうか。	1	「教育」の項目において、「ふるさとを学び愛着を育む教育」「地域の教育資源を活用した教育活動の充実」の取組を引き続き推進していきます。ご意見は、今後の施策等を検討する中で参考にします。

番号	素案の項目	ご意見の概要	件数	三次市の考え方
22	教育 福祉 就労促進・起業支援	65歳以上の人に、地域リーダー（地域での活躍の場）、子育て・就労（若者達との交流の場）、学校との連携（子どもたちとの学習の場）に参加してもらうよう呼びかける。	1	「高齢者の社会参加と生きがいづくり」「地域と学校の連携」「高齢者の就労の促進」について掲載しているところです。参加の呼びかけについては、市民一人ひとりの「行動」と「参加」の中で整理します。
23	スポーツ・文化	今ある文化の継承にも力を入れて欲しい。	1	「スポーツ・文化」の項目において、「歴史・伝統・文化の継承と発展」の取組を引き続き推進していきます。
24	スポーツ・文化	伝統文化を継承するとともに新しい文化を取り入れ、三次市の友好都市、姉妹都市との文化面での繋がりを強化する。	1	「スポーツ・文化」の項目において、「三次の文化・芸術の発展継承と創造」「歴史・伝統・文化の継承と発展」「国際交流の推進」の取組を引き続き推進していきます。
25	保健・医療 防災・安全	予防で医療費の削減、防災で災害復興費の削減を。	1	「保健・医療」の項目での「いきいき健康日本一」の取組をはじめとする健康づくりや、3つの重点項目の一つである「災害に強いまちづくり」の実現に向け、防災・減災対策の取組を推進していきます。
26	保健・医療	三次市の女性の健康寿命が全国的に見て短い。	1	「保健・医療」の項目において、「健康寿命の延伸に向けた取組」を引き続き推進していきます。
27	保健・医療	医療機関の先生の高齢化が進んできている。身近でかかることのできる医療機関は、なくてはならないものと思う。医療水準を低下させないようにするにはどうしたらよいか。	1	「保健・医療」の項目において、「地域で支える医療体制づくり」の取組を引き続き推進していきます。
28	保健・医療	「病院患者図書館」への取組について、引き続き（新たに）研究していただきたい。	1	ご意見は、今後の施策等を研究する中で参考にします。
29	保健・医療 農林畜産業 商工業 循環型社会	地域内での経済循環構造の構築が必要である。エネルギー、介護、食糧の自給自足により定住できる。	1	地域内での経済循環や自給自足の考えについては、「地元商店・商店街の利用促進」「地域包括ケアシステムの構築」「地産地消の取組」「再生可能エネルギーの活用」等の取組を引き続き推進していきます。
30	福祉	高齢者の生きがいづくりや居場所づくり等に積極的に取り組んで欲しい。また、出かけやすい取組（クーポン制度等）を取り入れて欲しい。	1	「福祉」の項目において、「高齢者の社会参加と生きがいづくりの推進」の取組を引き続き推進していきます。ご意見は、今後の施策等を検討する中で参考にします。
31	防災・安全	インフラの整備に伴うコンパクトシティ化、電線の地中化等、災害に強いまちづくりを急いで欲しい。	1	3つの重点項目の一つである「災害に強いまちづくり」の実現に向け、防災・減災対策の取組を推進していきます。ご意見は、今後の施策等を検討する中で参考にします。

番号	素案の項目	ご意見の概要	件数	三次市の考え方
32	防災・安全	災害に強いまちづくりには、増水対策や越水対策が欠かせないと思う。土師ダム、灰塚ダムの洪水調整能力を向上やメンテナンスを国・県に要望してはどうか。	1	3つの重点項目の一つである「災害に強いまちづくり」の実現に向け、国・県との連携を強化し、防災・減災対策の取組を推進していきます。
33	防災・安全 自然環境	防災について、河川の被害が大きいので1年に1回でもいいので市内の河川の整理をする。(生きがい)	1	ご意見は、市民一人ひとりの「行動」と「参加」の中で整理します。
34	農林畜産業	農産物のブランド化について、新たなブランドを作るより、今あるブランドをより推進していく方が良いのではないかと。また、担い手への助成等を行えば担い手が増えるのではないかと。	1	農産物のブランド化・事業継承については、「三次市農業振興プラン」に基づき、トレッタみよしを核とした生産力・販売力の向上や、関係団体と連携した担い手育成・強化事業を進めているところです。ご意見は、今後の施策等を研究する中で参考にします。
35	観光	妖怪博物館に係る具体的な提案・取組について、有識者や地元の商店の方々を紹介してはどうか。	1	「三次もののけミュージアム」については、三次地区をはじめとした市内の関係団体で構成する「三次市妖怪を生かした文化・観光推進市民会議」の提言も踏まえ、取組を進めています。また、地域の取組の一つとして、地域の皆さんで構成される「三次地区の文化・観光まちづくりを進める会」や(一社)みよし観光まちづくり機構等において具体的な取組が進められているところです。今後も関係機関と連携して、三次地区の活性化に向けた取組を推進していきます。
36	定住・交流	移住の流れ「田園回帰」に向けての地方の受け入れが出来ていない。	1	移住される方の受け入れに向けて、定住対策をはじめとした各施策を実施しているところですが、引き続き取組を推進していきます。
37	定住・交流	作木の定住住宅について、空家になっているので、居住条件の緩和を考えても良いのでは。	1	定住対策については、引き続き推進していきます。ご意見は、今後の施策等を検討する中で参考にします。
38	定住・交流	少子対策に婚活イベントの参加を入れる。	1	「定住・交流」の項目において、「婚活の支援」の取組を引き続き推進していきます。
39	行財政改革	まちづくりで大切なことは、 情報…使える、価値のある、今の情報を必要としている人に早く伝える。 人…意欲的な意見をお持ちの方を見つけ出す。 資金…普通交付税の特別加算が無くなるので、どこから資金を捻出するかが問題。公共施設のメンテナンスをどこまでするのか。 物…利用され喜ばれる人の多いものを大切に、利用されていないものは、利用促進し、促進が出来なければ今まで以上に抱え込まない工夫が大切である。	1	いただいたご意見のとおり、「ヒト、モノ、カネ、情報、関係性」の有効活用を徹底する行財政改革を推進していく考えです。

番号	素案の項目	ご意見の概要	件数	三次市の考え方
40	しくみづくり	イベント等において、行政やイベントを指揮する人が前に出すぎだ と思う。 自由にやりたいことをできる風土づくりや意欲のある人がどんどん 前に出られるような風土づくり、また、意欲のある人を増やすこと が、計画されていることの結果に結びつくと思う。 まず、若い市役所職員が、主役となり市民の縁の下の力持ちとなっ てほしい。	1	「しくみづくり」において、「市民の力を引き出す、市民や地域が 主役の地域づくりの推進」「女性職員や若手職員、チャレンジ精神 のある職員を活かし育てる組織風土づくり」の取組を引き続き推進 していきます。

【連絡先】

部署名：政策部企画調整担当

広島県三次市十日市中二丁目8番1号

電話 0824-62-6115

FAX 0824-62-6137

電子メール kikaku@city.miyoshi.hiroshima.jp